

ケンソウオガワ
アマイヒメゴト
十八才未満ノ購読ヲ禁ズ


恋は苦手
「舞衣のヒメゴト」
フクダーダ
でも
気持ち良いのは好き


また名前聞いてなかったね
舞衣
舞衣ちゃんか可愛いね
ん~♡
あふっ
ふ~っ
ふっ♡ ふぅん♡ んふっ
んっ♡ んもっ
とろん♡
モゴッ モゴッ
ちゅるっ
ちゅっ ちゅ♡
ギュッ
ズッ! ズズ
んっ!? おっ えあぁっ♡


ンッ ンアッ♡
アアッ♡
ゴッ♡
ゴッ♡
アーッ♡
シコッ♡
おふぁ♡
はーっ よかったァ キス上手なんだね
はは 安心したよ
ねえ 舞衣ちゃん
舞衣ちゃんの おっぱい 見たいな
なんで?
ん
ちょっと 待って


あっ♡
♡
たぷっ
迫力あるなあ舞衣ちゃん
服の上からでも大きいのはわかったけど
これは想像以上――
えっ!?
ぽよん
あん♡ ごめんね驚いたでしょ
うわ これって
舞衣ちゃん・・もしかして
あ ううん違うの
昔からなの ブラし始めた頃から・かな
ぴゅるっ♡
ぴゅっ
ギュッ
ぴゅうっ
ぴゅるるっ♡



しかもルームメイトが母乳吸いついてくるから最近作る量も増えてきちゃって
そうなんだ でも 大変なんじゃない!?
うん
溜め込みすぎると痛くなるの
たまに休み時間トイレで搾ってるの
こんな重いんだー
近くで見ると大迫力だよ
ハァ これ楽ー♡
でしょ!? 肩こって仕方ないんだから
ねぇ 飲ませてもらってもいいかな?
いいよ
ちょうど張ってきて苦しいところだったの



ヤダ♡
夢中で吸っちゃって
そんなに一生懸命にならなくてもまだたっぷりあるってばっ♡
だって!! こんな機会一生に一度あるかないかだもっ!!
アッ♡ ンー 右も吸っちゃうんだ


ん♡ あ♡ あ～ 気持ちい…♡
ふる ふる
ふる
んん♡
チュポン
くはア♡
うん♡ 大分 楽になったぁ
すごいな 甘いんだ!
苦しくなったら いつでも 呼んでよ
舞衣ちゃんの ミルクだったら いくらでも 飲めるよ
ありがと♡
でも 良いことも あるんだよ
え 舞衣 ちゃん?


ほら♡
こうすると滑りが良くなって便利でしょ
うっ!! くっ!!
こんなっ こんなの夢みたいだよっ!!
あん♡
オチンチンかったあい♡
うあっー すっげ
メチャメチャ気持ち良いっ!!


やっ やばいって!!
やばいっ てばっ!!
舞衣ちゃんの おっぱい マンコッ!!
ダメだ 出そっ!!
もう 出そっ!!
あっ 待って
飲ませ てっ♡
わたしも ミルク 飲みたいっ!!


わかったよ 舞衣ちゃん 飲ませてあげる
そのかわり 覚悟してね 俺の量ハンパ じゃないから
んっ♡
んっ♡
いいぞ
!?
いくよっつ!!
んぶっ!!!



まって また 飲み込まないで
全部出し 終えるまで 口内に溜めて ごらん
モゴッ
ずっ ずび
ふっ ふぅん
チュクチュ
んぷっ
舌で口中に 塗りつけて よく味わって
ん
いいよ一気に 飲み干して
んっ
ごくっ
すごかった…ぁ♡
濃くって プリプリで おいしかったぁ…♡
げふっ
ポーッ♡
どうだった? 舞衣ちゃん
ふあ? あ… うん…








来てッ来てッ♡
オマンコいっぱい
刺激してっ
来たっ
来たっ!!
ア♡
おお…♡
オマンコ
来たあアア♡


ハァ♥ハアッ
いんっ いんっ いんっ♡
んっんっ んっんっ♡
ぶるぶるるぶるぶるんっ
淫乱だなァ 舞衣ちゃん
ミルクそこらじゅうにまき散らしてっ
本当だぁ♡
でも止まらっうぅん♡
カクン♥
うわわっ!!
舞衣ちゃんっ そんな締めつけないでよっっ!!
ああっ♡ だってえっ
イキそお!! もうイキそォ♡
ずぼぼぼぼぼ





END



強シスコンの自分としては
ものの最後の最後で妹と分かった
真白も描きたかったですがね。
いいですねぇ　好きです
アリッサの濃厚エロを描きたくも
ありましたが紙面的に自重しましたw

猫前


舞衣~っ♡
ちょっ!? 命っ!!
ニ六
どうしたの舞衣
どうしたじゃないでしょっ!!
太もも垂れてる赤っ!!
アンタそのまま帰ってきたの!?
「命と初めてのナプキン」
太もも?
なっ
なななんだこれはっ!?
まままま舞衣~ 死んじゃうのかっ わたし死んじゃうのかっ
はいいいい!?


わたしので
我慢してよね
おへー!
は～～
まさか初経だ
なんて思わな
かったわよ
わはははは
舞衣っ
面白いな
これっ!!
ところでお
アンタなんとも
ないの!?
なにが
だ?
?
なにって お腹痛い
とか身体が重いとか
ないの!?
ぐいぐい
なに喜んで
んだか
そのうち
うざくなる
だけよ
ん!
わたしは
元気だっっ!!
……
良かった
わね
END

このページはコピー誌の時のオチで、当時はこの本の15ページ目の直後に挿入されていました（笑）



ケンソウオガワ



